

モニタリング結果報告書

施設 花と緑のふれあいセンター
 指定管理者 株式会社かながわGAパートナーズ
 施設所管課 湘南地域県政総合センター

(平成22年度 下半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
10月	11月5日	11月10日	現地確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認した。
11月	12月3日	12月10日	現地確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認した。
12月	1月5日	1月7日	現地確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認した。
1月	2月4日	2月10日	現地確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認した。
2月	3月4日	3月10日	現地確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認した。
3月	4月5日	4月8日	現地確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認した。

2 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A: 提案を上回る B: 提案どおり C: 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。

<提案内容の概要>

安全を最優先に、訪れるすべての入園者が満足できるようなサービスを提供しながら、園芸文化の普及と農業への理解の促進につながる事業運営を行う。

- ① 公の施設としての政策目的に沿った健全な運営のほか、その設置の趣旨にしたいがい、花と緑や農業への関心を高め、庭のある暮らしが県土に広がるような運営を図る。
- ② 開園当初が最も輝きのある施設ではなく、次代の子どもたちへとつなげながら、時を経るにしたいがい花と緑がいきいきと充実し、人々に愛される運営を行う。
- ③ 観賞する楽しみだけでなく、園内に植栽された花や緑、さらには、農作物を活用した様々な楽しみ方や暮らし方を提案する運営を行う。
- ④ 需要推計に基づく入園者の確保と安定的な運営を行うため、テーマ性と訴求力のあるブランドづくりを図り、社会が常に注目する運営を行う。
- ⑤ 安全、快適、かつ効率的に本センターを利用できるように適切な点検、保守、修繕、運転、監視を行うとともに、事故や危険から来園者の安全の確保に努める。

<実施状況>

○ 展示事業

- ・ 今期は、ムクゲ、バラ、スイセン、クリスマスローズ、マンサク、マグノリア、ハナモモ等が開花期を迎え、特に秋バラの季節には多くの来園者があった。しかし、冬場の集客は厳しい

状況で、入園者も少ない状況であった。また、最新の園芸品種を紹介するため、一年草花壇を中心に 30 の新品種を新たに導入し、年間ではほぼ計画どおりとなる 47 の新品種が植栽展示された。

- ・ 県内で育成された花き、野菜等の開発品種の展示については、ほぼ計画どおり実施されており、展示会は、地震の影響により一部中止となったものもあったが、7 回実施され、年間では計画を上回る実績となった。

○体験学習事業

- ・ 子どもたちが農業のことを楽しみながら学ぶことができる気づき体験（農業体験学習）は、学校プログラム（28 回）が計画を下回る実績に止まったが、土日等有料プログラム（277 回）を数多く実施し、親子での参加者等を多く受け入れた。学校プログラムの利用促進のため、県も協力して、教育関係機関等に対して周知を図っている。
- ・ 県内農業の理解促進を目的とした農作物の栽培展示は、一部の農作物で生育不良が見受けられたが、県内で生産されている野菜や水稻、果樹等の栽培を行い、気づき体験プログラムのフィールドとしても活用した。
- ・ また、園芸や農業に関する各種講座（園芸教室 8 回、農業講座 9 回）を実施し、いずれも年間では計画を上回る開催実績となった。ただし、農業講座は参加者が集まらなかった講座も見られたことから、企画内容や周知方法に工夫していくこととしている。

○情報提供事業

- ・ ホームページ等により園内の開花情報や植物の栽培管理に関する情報を提供したほか、農業及び園芸関係の図書・雑誌類の購入、園芸関係のカタログ等を収集し、園内のライブラリーにおいて広く来園者の利用に供した。
- ・ また、印刷媒体による情報提供として、毎月の機関誌や情報誌（3 回）、イベントにあわせた新聞折込チラシの発行等を行い、集客に努めている。さらに、来園者等からは延べ 343 件の農業・園芸相談を受け付け、年間では 700 件を超える相談があった。

○イベント事業

- ・ 秋バラの時期にあわせたオータムローズフェスティバル、冬のチャペック生誕祭、春先の開園一周年記念イベント等、季節ごとに魅力的なイベントを企画し、集客を図った。
- ・ また、秋には、ひらつか花アグリとの本格的な連携イベントを初めて実施し、周辺施設との相互利用の促進が図られた。

○県民参加事業

- ・ 県民参加型の展示である花き愛好者団体展示会は、年間 20 回実施され、計画を大幅に上回る実績となった。
- ・ サポーター活動の支援については、園芸、農業、気づきの各分野において精力的な活動が行われており、園の維持管理・運営の一助となっている。また、次年度のサポーター募集を行ったところ、定員を上回る応募があり、関心の高さがうかがえた。
- ・ 県民参加型の植栽である県民花壇については、地域花壇と学校花壇の植栽が行われたが、地域花壇の植栽活動団体の応募がなく、募集方法に課題を残した。

○その他運營業務

- ・ 周辺のひらつか花アグリとの一体的な事業展開を図るため、本格的な連携イベントを初めて実施するとともに、平塚駅周辺のサイン設置や各種広報媒体での PR など、広報面でも周辺との連携を図って実施した。

<提案内容の概要（今後実施予定のもの）>

- 事業者自らの取組みとして提案している、園芸福祉講座等の独自事業の実施。（平成 23 年度以降）

<実施状況（今後実施予定のもの）>

- 平成 23 年度から本格的に実施できるよう、事業内容や実施方法等について、県担当者と定期的に打合せを実施した。

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額				支出額	収支差額
		指定管理料	利用料金 (前年同月料 金額)	その他収入		
年間予算額	238,069	60,606	157,988	19,474	238,069	0
上半期計 (a)	74,067	30,303	32,392 (-)	11,371	125,346	△51,278
下半期計 (b)	53,226	30,303	15,739 ()	7,183	119,236	△66,010
10月	8,634	0	7,285 ()	1,348	2	8,632
11月	6,114	0	4,764 ()	1,349	0	6,114
12月	17,009	15,151	773 ()	1,084	59,658	△42,649
1月	1,638	0	639 ()	999	0	1,638
2月	1,861	0	773 ()	1,088	0	1,861
3月	17,967	15,151	1,502 ()	1,313	59,575	△41,608
合計 (a+b)	127,293	60,606	48,131	18,555	244,582	△117,289

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

全体的に入園者数が下回っていることに伴い、収入も下回っている状況で、秋のイベントに伴う入園者は台風の影響により一部イベントが中止となったこともあり、期待したほどの結果は得られなかった。また、3月にワンコインデーを行い、予想を上回る入園者を迎えたが、収入面での効果は低く、総合的な検証を行う必要があると考える。

（今期に行った資本的な収入及び支出等の状況）

	内容	金額(千円)
収入の状況	* 該当なし	
支出の状況	* 該当なし	
積立等の状況	* 該当なし	(期首)
		(期末)

- 収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	81,360 人	-人	-%
下半期計 (b)	53,043 人	人	-%
10月	20,635 人	-人	-%
11月	14,303 人	-人	-%
12月	3,598 人	-人	-%
1月	3,099 人	-人	-%
2月	3,877 人	-人	-%
3月	7,531 人	19,483 人	△61.35%
合計(a+b)	134,403 人	19,483 人	-%

利用状況に関する意見等

半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。

冬季期間は集客が望めない時期としているものの、東日本大震災により、計画停電による臨時休園や営業時間の変更、震災後の消費マインドの低下等様々な要因が重なり、春の集客が伸び悩み、提案書を下回る結果となった。

5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
10月				1		1
11月						0
12月						0
1月						0
2月	1			1		2
3月						0

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
10月			0
11月			0
12月			0
1月			0
2月			0
3月			0

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。

分野	概要	対応状況
施設・設備	・子どもの遊ぶ場所（遊具）がほしい	イベント等において子どもの遊べるコンテンツを検討している
	・花や木の名前がわかりにくい	植物プレートの考え方を提示し、理解を求める
職員対応	・スタッフの声掛けに元気がない	従業員教育を行う
事業内容	・スクールの定員・回数を増やしてほしい	今年度の実績を踏まえ来年度の計画に反映したい
その他	・特になし	

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
月 日	「特になし」

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日		「特になし」	

9 上（下）半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・地域・地元団体との連携を強化し、イベントを実施し、来園促進につなげたい。 ・ホームページを有効な販売ツールとなるように情報提供の強化を図りたい。 ・「スプリングローズフェスティバル 2011」の昨年の実績からも集客増を大いに期待し、準備を進めているが震災の影響として消費マインドの低下は避けられず、回復が遅れた場合はそのまま集客減につながるため市場の回復が鍵を握っていると考えます。
施設所管課	<ul style="list-style-type: none"> ・秋のイベント等にあわせて、様々な媒体を利用して認知度の向上を図ったが、上半期と同様に計画を下回る入園者数に止まっているため、今後も入園者の増加に繋がる対策等を講じていく必要がある。 ・このため、引き続き、指定管理者との協議を行うとともに、周辺施設との連携や広報面での支援等を行っていく考えである。